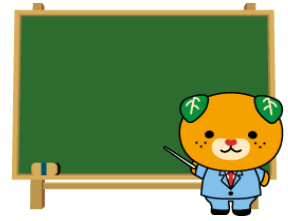


義務教育課だより 9月号

令和8年度全国学力・学習状況調査について



〈教科に関する調査について〉

成果	毎時間の学習内容の振り返りを充実させ、基礎・基本の確実な定着を図る授業改善を推進してきたことにより、どの教科においても、 基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題 の正答率が高い結果となりました。
課題	情報を正しく理解し、複数の情報を関連付けて整理する問題（読解力）や、目的や文脈に合わせて自分の考えを言葉や式などで論理的に説明する問題（記述式）に課題が見られました。



平均正答率等はこちら

〈質問調査について〉

「**将来の夢や目標を持っている**」と答えた児童生徒の割合は、今年度も小・中学校ともに全国平均に比べて高い状態を維持しており、良好な状況が続いています。

「**学習内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている**」と答えた児童生徒の割合は、小・中学校とも昨年度と比べて上昇しており、学びの振り返りを重視する授業改善の取組が浸透してきています。

国語、算数・数学、中学校英語について「**授業の内容はよく分かる**」と答えた児童生徒の割合は、全ての教科において全国平均を下回っているものの、中学校においては、前回の調査から改善が見られます。特に数学については、前回から6ポイントあまり肯定率が向上し、平均正答率の改善につながったものと考えられます。今後も、「分かった」「できた」と実感できる授業を積み重ね、子供たちの学ぶ意欲を次の学びへとつなげていくことが大切です。

〈今後の取組について〉

学力向上のための全般的な方策としては、知識及び技能を活用しながら、目的に応じて必要な情報を見付けたり読み取ったりする力や、見いだした事実や自分の考えを適切に表現する力が身に付くよう、**言語活動の充実を図る授業**や**情報を活用しながら問題解決を図っていく授業**を行うことが効果的であると考えられます。

また、全ての教科の基礎となる読解力の育成や、英語力の向上に向けては、E I L Sの**読解力検定**や**みきゃん通帳**、**地域の問題を取り上げた読み物教材**、**フリートーク教材**などを積極的に活用してほしいと思います。

さらに、今年度は、全国学力・学習状況調査の結果を専門業者に委託して詳細に分析し、**その結果を各学校にフィードバック**します。それをもとに学習指導の更なる改善・充実を図ってほしいと思います。

10～12月に、「**授業力パワーアップ研究会**」を開催します。①「愛媛が目指す『子供たちが問いを発する授業』『解決に向けて学び合う授業』『思いや考えを確かめ深める授業』の具現化」、②「『分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる』振り返りの充実」の2点に焦点を当てます。ぜひ御参加ください。

また、取組を通じて得られた好事例を県内全体へ広く発信しますので、日々の授業改善に御活用ください。